

マラリア予防薬服用の勧め

14年度1次隊 ittuan

今回こうして私がマラリア予防薬についてレポートを書くのは、私が実際にマラリアに罹患し、さらに予防薬の効果を実感したからであります。

はじめに私がダルに移動しマラリアの確定診断を受け入院するまでの経過を簡単に説明します。

3月30日(日曜日)			肩こりがとてもひどくなり、なんとなく腰がだるく感じる。
3月31日(月曜日)	19時	37.5	発熱 風邪薬を飲んで20時に就寝。
4月1日(火曜日)	6時30分	38.0	解熱剤服用
	7時30分	37.0	出校 4コマ授業を行い、帰宅
	13時	39.2	MCに相談 検査キットでチェック(陰性) のどの痛みがあるため細菌感染の可能性あり 抗生剤、解熱剤を服用。
	20時	39.8	解熱剤、抗生剤を飲んで就寝。
	2時	39.8	寒くて目がさめる。(家中のシーツや、寝袋をかけても寒い。)
4月2日(水曜日)	6時30分	37.8	(少し安心)
	8時	37.3	(かなり安心) 解熱剤、抗生剤服用
	12時	37.5	解熱剤、抗生剤服用
	20時	38.0	解熱剤、抗生剤を服用し就寝
	2時	39.8	昨晚同様、寒くて目がさめる。(どうしても寒い)
4月3日(木曜日)	6時30分	39.6	抗生剤、解熱剤服用。
	9時30分	39.6	MCに相談 任地の病院でマラリアチェック。炎天下を約1km、徒歩で移動(思ったよりつらかった) マラリアと診断
	12時30分		MCに連絡後再度キットで検査 陰性 念のためアルテメディスンを服用し、明日ムワンザへの移動の指示。
	13時		当日ムワンザへの移動と再度MCから指示(少しあせる)
	13時30分		タクシーで同僚教師とムワンザへ向かう。道中タクシーがムワンザまで行かないと言い出し、ミスングイでガラガラに乗り換える。(タンザニア人教師の役立たずさを痛感)

	16 時 30 分	39.6	ブイル(塚越低)着 アルテメディスン、解熱剤、抗 生剤服用。
	17 時 30 分	37.8	
	20 時 30 分	37.6	解熱剤、抗生剤服用、就寝
4 月 4 日(金曜日)	6 時 30 分	37.6	アルテメディスン服用
	12 時 30 分		ダル着 IST クリニックでマラリアの確定 入院。

このような経緯で私は入院しました。

私が、実際にマラリアチェックを受けたのは発熱してから 3 日目です。しかし、原虫率は mps9 / wbs200 とかなり低い状態でした。さらにこれだけの移動をしたにも関わらず、IST クリニックについた時には、血液中にマラリア原虫は存在しませんでした。これは、マラリア予防薬をきちんと飲んでいただのおかげだと思います。私は、パルドリンとクロロキン両方飲んでいました。

このレポート読んで、マラリア予防薬をきちんと飲んでいてもマラリアに罹るのだ、それならば飲まなくても同じではないかと思われるかもしれませんが、それは違うと思います。予防薬を飲んでいないと症状が全然違います。わかりやすい例を示しますと、治癒後の禁酒期間、予防薬を飲んでいなかった T 隊員の場合 3 ヶ月、私の場合 1 ヶ月、これだけでもからだに対するダメージが全然違うことが明らかですよね。さらに原虫率は、T さんの場合 mps147 / wbs200、私の場合 mps9 / wbs200 です。T 隊員が何日目に調べたのかわかりませんが、この数値も予防薬の効果を証明していることは容易に理解できますよね。

副作用があるから飲まない方も多いようですが、その副作用がどの程度のものなのか私にはわかりませんが、しかし、もう一度考えてみてください。マラリアは間違いなく副作用よりつらいです。想像してみてください腹痛も頭痛もない原因がなんだか分からない高熱が続くことを、かなりつらく不安ですよ。夜中に寒くて目がさめて、家中のシーツを集めてきてかけてもまだ寒い。

マラリアになった隊員はあまりつらかった話をするのが格好が悪いので、つらかった事は話さないですし、皆さんが会うときには、かなり回復して元気になった状態なので、想像しがたいかもしれませんが、つらいです。私は今まで大きな病気をしたことがないからかもしれませんが、今まで罹った病気の中では最も厳しいものでした。私を見て、冗談で元気なマラリアも悪くないなと言っていた方もいましたが、それは全て、予防薬のおかげです。

しつこいようですが、もう一度、予防薬について考えてみてください。皆さんがマラリアにならないことを祈ってレポートを終わりたいと思います。

以上